



Title	ChatGPT Plus 体験者のレポート
Author(s)	三隅, 健一; 森, 菜摘; 佐々木, 詠梨; 山田, 恵里; 得能, 由貴; 有安, 友美; 中島, 司典; 工藤, 茜; 河野, 由香里; 佐々木, 翼; 堀越, 邦恵; 原, 亜喜子
Issue Date	2024-02-21
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/91307
Type	report
Note	国立大学図書館協会地区協会助成事業北海道地区協会令和5年度企画事業「Chat GPTを使い倒そう」令和6年2月21日(水)13:20-16:10.北海道大学附属図書館本館4階大会議室.主催:国立大学図書館協会北海道地区協会.登壇者以外によるレポート.
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	7_Tokuno.pdf (帯畜大・得能由貴_ChatGPT体験レポート)



[Instructions for use](#)

ChatGPT Plus 体験レポート

2024/1/31

帯広畜産大学・得能 由貴

役立つと思われる事例①

概要

書名と紹介文を与えて、そこから想像できる画像を生成してもらった。なおその画像に書名と推薦文を重ねてPOPに仕立ててもらうことはできなかった。

入力例

TO

あなた

以下の書名と紹介文から画像を生成してください。

書名：さよならデュッシー

紹介文：『このミステリーがすごい！』大賞、うつのみや大賞を受賞した中山七里さんの代表作の一つ。気楽に読めるが、「何かを言葉で表現する（音楽を言葉で表現する）」ということのすごさを感じられる一冊。

ポイント

・ 乏しい情報からもそれらしい画像を生成できる

・ エクセルで50冊分の書名と紹介文を提示してみたが、10枚の画像を生成した時点でエラーになってしまった（処理に時間がかかりすぎるためらしい）

・ 画像に文字を貼り付けようとしたが、日本語フォントに制限があり実行できなかった

回答例



役立つと思われる事例②

概要

手書きのイラストをアップグレードしてもらった。

入力例

TO

あなた

私が描いた絵をアップロードしたら、構図はそのままでもっと上手な絵に描き替えてもらうことはできますか？



ポイント

- ・リスと本だとわかったことがすごい
- ・細かい部分（リスの顔は右向き、本は2冊）は汲み取ってもらえなかった
（言葉で指定したときにうまく生成してもらえないのと同様）

回答例



役立つと思われる事例③-1

概要

Scopusの検索式を考えてもらい、正しい検索結果が得られた。

入力例

TO

あなた

Scopusでの検索式を考えてください。

【条件】

- ・著者がABC大学に所属している
- ・出版年が2022年
- ・文献タイプはArticle
- ・タイトル、アブストラクト、キーワードのいずれかに「milk」を含む

回答例

これらの条件を組み合わせた検索式は次のようになります：

```
SCSS Copy code  
AFFIL(ABC大学の正式名称または略称) AND PUBYEAR IS 2022 AND DOCT
```

```
AFFIL(ABC大学の正式名称または略称) AND PUBYEAR IS 2022 AND DOCTYPE(article)  
AND TITLE-ABS-KEY(milk)
```

検索結果

文献 プレプリント 特許 参考文献由来の情報 研究データ

13 件の文献が見つかりました

すべて エクスポート その他 [すべての抄録を表示](#) Sort by [出版日 \(新\)](#)

	文献タイトル	著者名	出版物名
<input type="checkbox"/> 1	Article • Open Access Association between differential somatic cell count and California Mastitis Test results in Holstein cattle	Huang, C.-H., Kusaba, N.	JDS Communicat 3(6), pp. 441-445
	抄録を表示 SFX フルテキスト 関連文献		
<input type="checkbox"/> 2	Article • Open Access Analysis of Prototheca and yeast species isolated from bulk tank milk collected in Tokachi District, Japan	Toyotome, T., Matsui, S.	Journal of Dairy S 105(10), pp. 8364
	抄録を表示 SFX フルテキスト 関連文献		
<input type="checkbox"/> 3	Article • Open Access Priority effects shape the structure of infant-type Bifidobacterium communities on human milk oligosaccharides	Ojima, M.N., Jiang, L., Arzamasov, A.A., ... Sakanaka, M., Katayama, T.	ISME Journal, 16 2265-2279
	抄録を表示 SFX フルテキスト 関連文献		

ABC大学→帯広畜産大学 に修正して検索

役立つと思われる事例③-2

ポイント

・他のデータベースでも試したところ、各データベースに合わせた検索式・検索方法を教えてもらえた。

◆PubMed

→ ("ABC大学の正式名称" OR "ABC大学の略称")[Affiliation] AND "2022"[Publication Date] AND milk[Title/Abstract]

◆◆MeSHも使えた。

(「milk」に代えて、「胃がんの治療に関する論文である」という条件を与えた)

→ "ABC大学の正式名称または略称"[Affiliation] AND "2022"[Publication Date] AND ("gastric cancer" OR "stomach neoplasms"[MeSH Terms]) AND "treatment"

◆Google scholar

→Google ScholarはPubMedやScopusのような詳細なフィールド指定ができないため、少し異なるアプローチが必要です。(以下詳細)

◆Cinii Research

→検索ボックスに「milk」と入力します。

「所属機関」フィールドに「ABC大学の正式名称または略称」と入力します。

「公開年」フィールドに「2022」と入力します。

役立つと思われる事例④

概要

エクセルファイルを図書館システムに取り込める形に修正してもらった。定期的に行う作業が楽になった。

入力例

TO あなた

 文庫 2023.12.1 新システム.xlsx
スプレッドシート

以下のことを自動で行いたいです。

- ・ `ファイル`に以下の列があれば削除します。
STATUS、CUSTOMER_BIBLIOGRAPHY_ID、MARC、SHELF_NO、ACCEPTANCEDT、CHECKOUTDT、CHECKOUT_TIMES、UNKNOWN_CLASS、UNKNOWNDT、REMOVE_CLASS、REMOVEDDT、COLLECT_LIBRARY、CURRENT_LIBRARY、SHELVING_CLASS、RETURN_LIBRARY、RETURNDT、NOTE1、NOTE2、NOTE3、NOTE4、NOTE5、NDC
- ・列の名称を次の通り変更します。
ISBN → ISBN/ISSN
TITLE → タイトル
AUTHOR → 著者名#1
PUBLISHER → 出版者#1
SYMBOL → 請求記号#1
BARCODE → 資料番号
- ・次の列を追加します。
資料区分 (常に「102」とする)
所在コード (常に「50634」とする)
和洋区分 (常に「1」とする)
- ・請求記号#1の小数点の左側が3桁になるまで、左端に「0」を追加します
(例えば「5.1」は「005.1」、「17.002」は「017.002」となるように)
- ・請求記号#1に含まれる半角スペースを削除します

回答例

 ChatGPT

修正されたファイルをExcel形式で保存しました。以下のリンクからダウンロードできます：

[修正された文庫ファイルのダウンロード \[-\]](#)

ポイント

- ・このあとpythonスクリプトで出力してもらったことにより、GPT体験終了後も利用可能になった
- ・Pythonについて全く無知だったが、導入方法からGPTに教えてもらうことで利用できるようになった

役立つと思われる事例⑤-1

概要

アルバイトのシフト表を組むPythonスクリプトを作成してもらった。最後に人の目での確認は必要だが、実用できるシフト表が作成可能になった。

入力例

- TO あなた**
アルバイトのシフトを組むための、pythonスクリプトを一緒に考えてもらえますか？
- TO あなた**
1.アルバイトは10名で、名前はAさん、Bさん、Cさん、Dさん、Eさん、Fさん、Gさん、Hさん、Iさん、Jさんです。
AさんからEさんまでを「担当者1」、FさんからJさんまでを「担当者2」として、毎日「担当者1」から1名、「担当者2」から1名の合計2名が勤務します。
2.今回は令和6年1月のシフトを考えます。上述のように毎日2名が勤務しますが、例外があります。
【例外】
・1月1日から1月4日までと、1月12日から1月14日までは、誰もシフトに入れないでください。
・1月20日と1月27日は、「担当者1」から2名、「担当者2」から2名ずつシフトに入れてください。
3.特定のアルバイトが勤務できない日は次のとおりです。
Aさん：1/10
Fさん：1/27
4.同じ人が連続して勤務しないようにしてください。

回答例

- ChatGPT**
もちろんです。以下に、アルバイトのシフト計画を作成するためのPythonスクリプト全体を示します。このスクリプトはご指定の要件に基づいており、特定の日には特定のアルバイトが勤務しないように設定されています。また、同じアルバイトが連続して勤務しないようにするロジックも組み込まれています。

```
python Copy code

from datetime import date, timedelta
import random

# アルバイトの名前
staff_group_1 = ['A', 'B', 'C', 'D', 'E'] # 担当者1
staff_group_2 = ['F', 'G', 'H', 'I', 'J'] # 担当者2

# 期間設定
start_date = date(2024, 1, 1) # 令和6年1月1日
end_date = date(2024, 1, 31) # 令和6年1月31日

# 例外日
exceptions = [
    (date(2024, 1, 1), date(2024, 1, 4)), # 1月1日から1月4日
    (date(2024, 1, 12), date(2024, 1, 14)) # 1月12日から1月14日
]

# 特別な日
special_days = {
    date(2024, 1, 20): 2, # 1月20日
    date(2024, 1, 27): 2 # 1月27日
}

# 不可日
```


役立つと思われる事例⑤-2

入力例

TO あなた
ありがとうございます。結果をエクセルファイルで出力するように修正できますか？

TO あなた
ありがとうございます！かなりいい感じです。
以下の条件を追加したスクリプトを提示してください。

【追加条件】

- ・「担当者1」と「担当者2」を別々の列に出力したいです。
- ・Aさんは1月10日に加えて1月16日も出勤できません。

今はスタッフの勤務日数に偏りがあるようです。なるべく均等な勤務日数になるようにできますか？

TO あなた
各スタッフが書き込まれているセルについて、スタッフごとに異なる色で塗り分けることはできますか？

TO あなた
不可日の設定について、「木曜日は勤務できない」という場合どのように表したらよいですか？

TO あなた
エクセルにしたとき、セルの幅が狭くて見づらいです。

別の相談なのですが Bさんが今月は3回程度の勤務にしたいと言っています。どのようなスクリプトをどこに挿入すればいいですか？

成果物

A	B	C	D	E	F
Date	Weekday	担当者1 Staff 1	担当者1 Staff 2	担当者2 Staff 1	担当者2 Staff 2
2024-01-01	月				
2024-01-02	火				
2024-01-03	水				
2024-01-04	木				
2024-01-05	金	C		I	
2024-01-06	土	A		H	
2024-01-07	日	B		F	
2024-01-08	月	C		G	
2024-01-09	火	D		J	
2024-01-10	水	E		H	
2024-01-11	木	C		F	
2024-01-12	金				
2024-01-13	土				
2024-01-14	日				
2024-01-15	月	E		J	
2024-01-16	火	B		I	
2024-01-17	水	A		F	
2024-01-18	木	D		J	
2024-01-19	金	E		I	
2024-01-20	土	A	D	H	J
2024-01-21	日	B		F	
2024-01-22	月	A		H	
2024-01-23	火	D		F	
2024-01-24	水	C		J	
2024-01-25	木	E		H	
2024-01-26	金	C		F	
2024-01-27	土	E	D	H	J
2024-01-28	日	D		I	
2024-01-29	月	E		J	
2024-01-30	火	D		H	
2024-01-31	水	E		I	

役立つと思われる事例⑤-3

ポイント

- ・最初は単純な条件で安定的に動作させ、徐々に条件を増やしていくとよいと思う
(人間相手に条件後出しをすると怒られるが、GPTには後出しでいいところが非常に気楽)
- ・GPTは前に教えた条件を忘れていたりすることがありそうなので、スクリプトだけ書かせ、手元でプログラムを実行した
- ・プログラムが動作しないときは、手元のスクリプト全文を見せ、「どこが間違っていますか」と聞くとスムーズに修正点を指摘してもらえた
- ・最後は人の目で調整した方がよい

役立つと思われる事例⑥-1

概要

ConsensusというGPTsを用い、論文の検索とまとめをおこなってもらった。情報収集に役立つと思われる。

入力例

TO あなた
大学図書館に関する、5年以内の論文をまとめてください

回答例

Consensus
chat.consensus.appと通信しました
過去5年間（2019年以降）に発表された大学図書館に関する論文の概要は以下の通りです：


- 地方大学図書館の社会化教育機能と実現経路の研究:**
 - 地方大学図書館が地域経済にサービスを提供し、地域社会のサービスを行うための方法と関連する課題を提案しています (Zhang, Li, & Zhenghong, 2019)。
- 大学図書館：可能性の場所:**
 - 大学図書館の進化の軌跡を歴史的な文脈で調査し、技術革新と新しい教育学習パラダイムに対する図書館の反応を分析しています (ODonnell & Anderson, 2021)。
- リーディングクエリサービスに基づくダイナミック大学図書館のモデル:**
 - 図書館の特化（図書館、研究および学術サービス）と情報提供方法に基づいて、ダイナミックな図書館サービスを分類しています (Baryshev, Babina, Manushkina, & Tsvetochkina, 2019)。
- **COVID-19パンデミックへの対応としてカルガリー大学のデジタル学術図書館とアーカイブサービスの拡大**:**
 - オンラインチーム、仮想ツアー、オンラインライブチャットサービスなど、COVID-19パンデミックに対応するためのデジタルスキルとサービス提供モデルの活用について説明しています (Murphy, Lewis, Mckillop, & Stoeckle, 2021)。

The image shows a screenshot of the Consensus interface on the left and a linked article page on the right. The Consensus interface displays the search results for the query '大学図書館に関する、5年以内の論文をまとめてください'. The article title is 'Research on the Socialized Educational Function and Realization Path of Local University Libraries' by Zhang A-ying, Li Guixia, and L. Zhenghong, published in 2019. A red circle highlights the 'Full text' link, and a red arrow points from this link to the article page on the right. The article page is from Atlantis Press and is part of the 'Proceedings of the 2019 4th International Conference on Social Sciences and Economic Development (ICSSSED 2019)'. The article title is 'Research on the Socialized Educational Function and Realization Path of Local University Libraries' by Zhang Aying, Li Guixia, and Li Zhenghong. The abstract states: 'The university library is a supplementary educational institution for teaching and research services to fulfill the basic functions of the administration, education functions, research services and information consultation. The function expansion of the university library is the needs of its own development and the social development. We probe the necessity and feasibility of the social services offered by the local university library, analyze the measures of the local university library to serve the local economy, and propose the methods and the related issues of the socialization of the local university library.'

役立つと思われる事例⑥-2

ポイント

- ・ 英語論文を日本語で検索できるところがよい
- ・ 実在する論文を引用しており、内容も正しい（架空の論文を引用していた過去のGPTとは違う）
- ・ 検索できない論文もあることに注意（現時点では英語論文しか検索できないなど）
- ・ 全文公開の論文が優先されている雰囲気。ハゲタカジャーナル掲載論文を拾ってくる懸念あり。大手出版社を指定するとよいかも。

 **Consensus**
はい、私が検索しても見つけれない論文もあります。その理由はいくつかあります：

- 1. 非公開または限定アクセスの論文:**
 - ・ 一部の論文は、特定の学術雑誌やデータベースによって限定されたアクセスのみとなっており、一般には公開されていない場合があります。
- 2. 最新の研究:**
 - ・ 最新の研究や出版されたばかりの論文は、検索可能なデータベースにまだインデックスされていないことがあります。
- 3. 特定の専門分野:**
 - ・ ある特定の専門分野やニッチなトピックに関する論文は、一般的なデータベースや検索エンジンではなく、特化したデータベースでのみ利用可能な場合があります。
- 4. 言語の制限:**
 - ・ 一部の論文は、英語以外の言語で書かれており、私が検索できる範囲外である可能性があります。

これらの理由により、全ての論文を検索し、見つけることができるわけではありません。また、私はインターネットへのアクセスが制限されており、特定のサブスクリプションベースのデータベースや有料コンテンツにはアクセスできません。

役立つと思われる事例⑦

概要

大学のレポートを模したものを書いてもらい、レポートの書き方講習会のスライドに使用する。

活用例

おまけ：ChatGPTにレポート書かせてみた

10 あなた

大学生のレポートにおける生成AIの活用と問題点について、2000字以内で述べてください。
なお、以下の条件に従ってください。
【条件】
・大学のレポートらしく書くこと
・「です」「ます」調ではなく「だ」「である」調で書くこと
・見出しの前に番号をつけること

11 ChatGPT

大学生のレポートにおける生成AIの活用と問題点

1. はじめに

本レポートでは、大学生によるレポート作成における生成AIの活用と、それに伴う問題点を考察する。近年、AI技術の進化に伴い、様々な分野でのAIの活用が進んでいる。特に、文章生成AIは学術的な文書作成において有効なツールとして注目されている。しかし、この技術の利用にはいくつかの課題が存在する。

2. 生成AIの活用

生成AIは、研究レポートやエッセイの作成において、情報収集や文書構成の助けとなる。このAIは大量のデータから情報を収集し、整理する能力に長けているため、時間を節約しながらも質の高い情報源を提供する。また、文章構成の提案や文体の調整にも活用できる。

3. 問題点

一方で、生成AIの利用には問題点も存在する。主な問題点としては、(1)オリジナリティの欠如、(2)情報の正確性、(3)倫理的問題が挙げられる。生成AIは既存の情報を基に文章を生成するため、新たな視点や独自の分析が不足しがちである。また、AIが参照する情報源の正確性や最新性が保証されない場合、誤った情報をレポートに取り込むリスクもある。さらに、AIによる文章生成は著作権の問題や学術的な不正行為（例えば、プラジャリズム）を引き起こす可能性もある。

4. まとめ

生成AIは大学生にとって有効なツールであるが、その使用には慎重さが求められる。オリジナリティの確保、情報の正確性、倫理的問題への配慮が必要である。今後、AI技術のさらなる進化とともに、これらの問題点への対策も進化していくことが期待される。

□ ☆ ♪ ☺

GOOD

- ・ 序論、本論、結論の構成
- ・ パラグラフ・ライティング
- ・ レポートらしい言葉づかい

BAD

- ・ 短すぎる（約600字）
- ・ 段落の初めは一字空ける
- ・ 根拠が示されていない
- ・ 変なところがある



自分で改善しよう！

ポイント

・ 例年、講習会後のアンケートで「レポートの実例が見たい」と言われていたことに、ある程度応えられる


・ レポートにGPTを使おうと考える学生に、適切な使用を促すことができる

注意が必要と思われる事例①


概要

GPTs（オリジナルのGPTを作成する機能）を用い、図書館のカウンターマニュアルを教えてくれるGPTを作成したが、誤った回答をする場合があった。さらに、どのような質問がされどのように回答したかのフィードバックを得ることができないため、誤った回答をしないか実用前の検証が必須。

入力例

 **あなた**
この図書館にある新聞をすべて挙げてください

回答例

 **Library Helper**
この図書館で取り扱っている新聞の一覧は以下の通りです：

- 北海道新聞（道新）
- 読売新聞
- 道スポ
- 日本農業新聞
- 赤旗
- 十勝毎日新聞（勝毎）

これらの新聞は、図書館内の新聞コーナーで利用できます。また、情報検索コーナーでは、オンラインでの新聞データベースの利用も可能です。

ポイント

・左の例では日本経済新聞と毎日新聞が抜けている。また、道スポではなく日刊スポーツ。

・元となるマニュアルがあまり整理できていなかった可能性はある